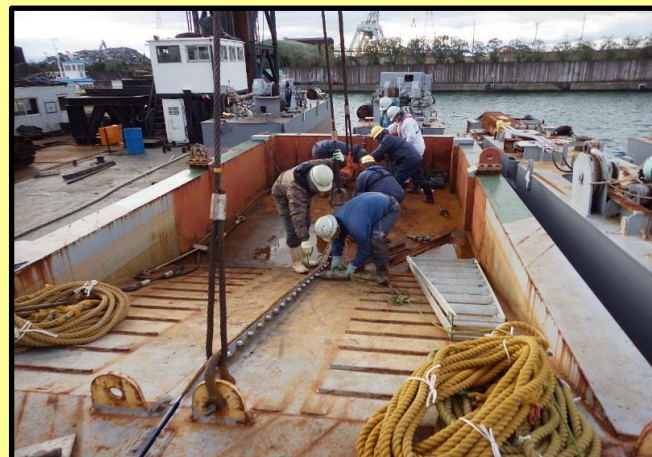


◆組立台船・スパット式バックホウ浚渫船の特徴

ユニット吊込み



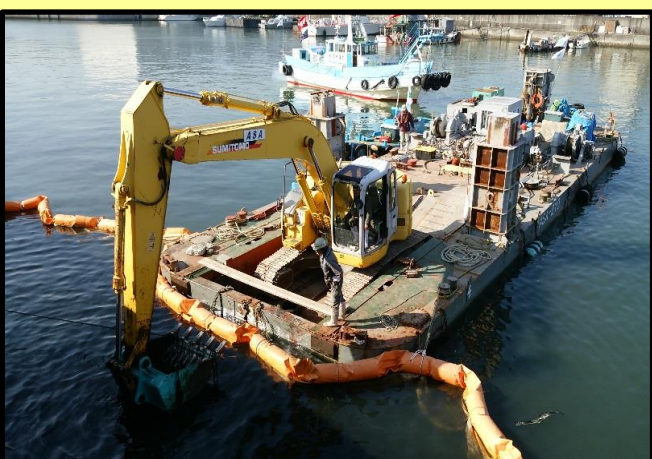
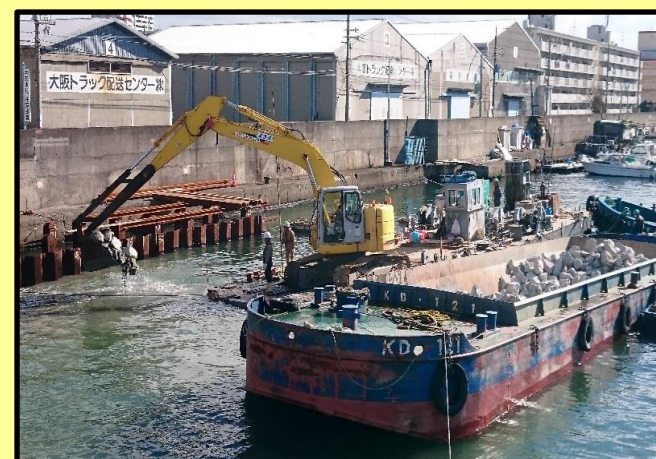
B・Nにて連結



組立作業完了



各部取付



 朝日工営株式会社

大阪市西淀川区姫島5丁目11-15

TEL 06(6475)1237

FAX 06(6475)1247

組立台船・スパット式

バックホウ浚渫船

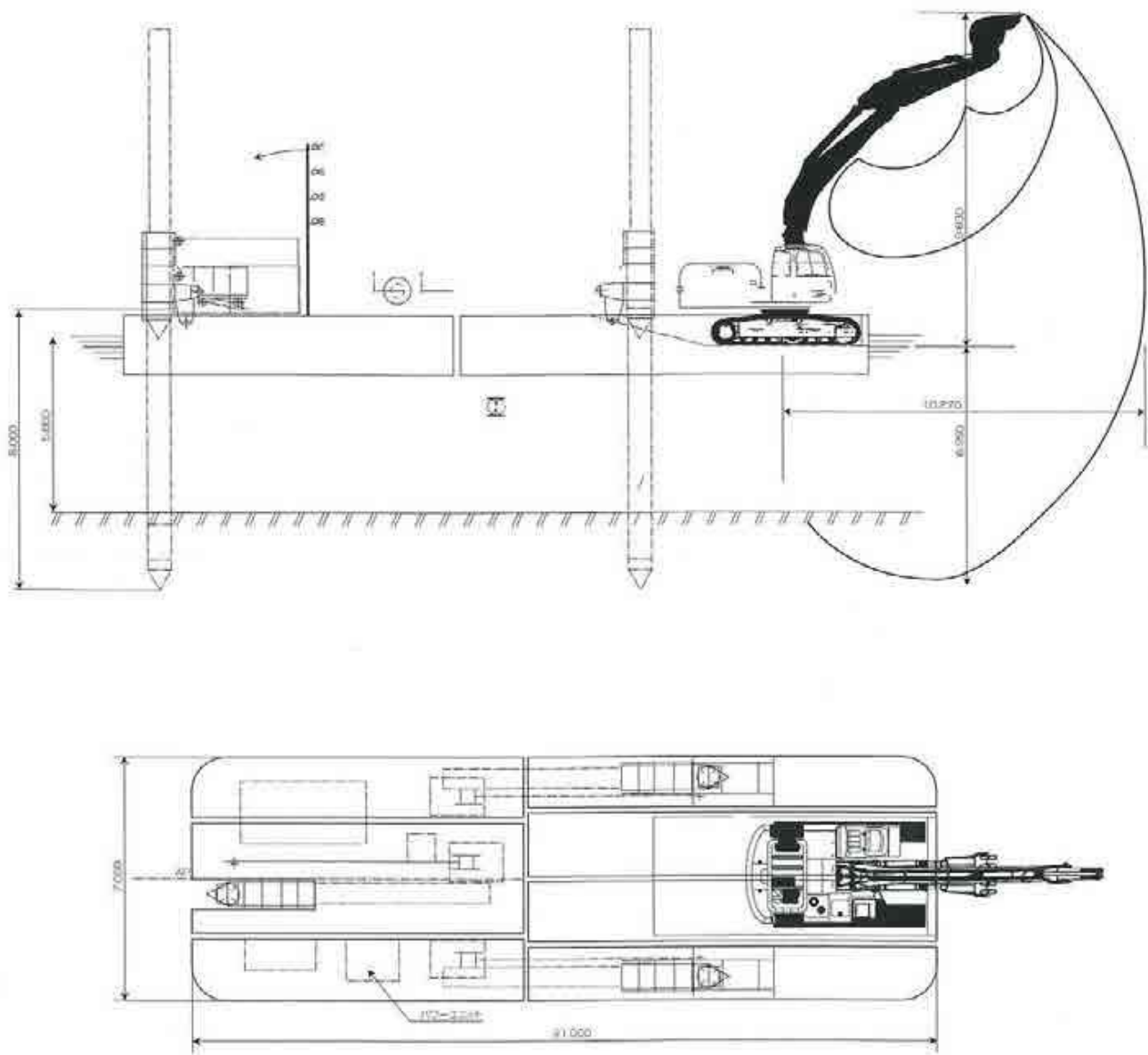
ASA-210



ASA

閉鎖水域浚渫の明日を開き未来に貢献する革命的機械の浚渫船

ASA-210仕様



組立台船 バックホウグラブ浚渫船の概要

水門より上流部の河川、或は内陸部の湖沼の浚渫に適応させるためバックホウを乗せる台船を7つに分割して、陸送し、所定の水域で組立てて作業するもので、閉鎖水域の浚渫を容易に可能としました。またペアーの土運船も4分割して陸送します。
更にバックホウグラブ式浚渫船の特徴である掘削力の大きさ、こまわりの良さをいかし三点支持スバットで船体の安定をよくし、バケットの操作を安全且つ迅速に行うことができ、浚渫能力アップと硬度地盤の浚渫を可能としました。

特 徴

1. 台船の分割陸送が可能のため、閉鎖水域の浚渫に適応容易
2. 台船のバックホウを乗せる部分を下げて掘削深度、安定度のアップ
3. 自力でスパッドの倒しが可能のため低い橋下の通航が容易
4. 強力な掘削力を有し土砂はもちろん硬土質、軟岩等の掘削に威力を発揮
5. 作業のための小移動は、スバットを巻き上げ、バックホウを操作するだけで簡単、現場移動が迅速容易
6. バックホウは水平に掻くことができるので掘り跡が平らに仕上げる事ができ、浚渫深度が比較的正確に仕上る
7. 油圧の為、早いサイクルタイムを確保、またバケットの動きに無駄がなく、よりいっそうスピーディに作業が行える

□台船(7分割)

全 長	21.0m (組立後)	型 深 さ	1.7m
型 巾	7.0m (組立後)	吃 水	1.1m

□バックホウ仕様

型 式	住友建機 SH-225	最大掘削深さ	6.650m
バケット容量	0.8m ³	最大掘削高さ	9.630m
最大掘削半径	9.850m	旋 回 速 度	13.5rpm